

ただいまご紹介に預かりました 3 人制プロバスケットボールチーム、SAITAMA LIPLA の鈴木と申します。

埼玉県庁の皆様、関係者の皆様、ご視聴いただいている皆様、このような機会をいただきありがとうございます。

15 分という時間ですので早速始めさせていただきます。

本日の目次となります。

まず初めに自己紹介をさせていただきます。1989 年 8 月 1 日生まれの 34 歳です。

背番号は、誕生日にちなんだ 81 番になっています。

出身地は埼玉県さいたま市で現在もさいたま市に住んでおり埼玉県大好きっ子です。

小学 2 年生からバスケットボールをはじめ、競技歴が 27 年になります。

大学卒業後、実業団リーグに所属し、仕事とバスケットボールの両立をしてきました。

現在は SAITAMA LIPLA の運営母体である有限会社リプラ、こちらが消防設備点検を行っている会社なんですけれども、そこに在籍しながら、3 人制のバスケットボール選手としても活動しております。

3 人制バスケットボールとは、というところで特徴を書かせていただきました。

5 人制のバスケットボールは認知があると思うんですけども、3 人制という競技は通常のバスケットボールコートの中半くらいの広さでやる競技になります。

スポーツコートを設置して競技を実施できるため、駅やショッピングモールでの開催も可能な競技となっております。

次に SAITAMA LIPLA というチームなんですけれども、このチーム名を初めて聞く方も多くいらっしゃると思います。

3 人制のプロバスケットボールチームとして立ち上げてまだ 2 シーズン目のチームとなりまして、埼玉県内で活動しており、現在は国内リーグの S リーグというところに所属しております。このリーグのシーズンも今半分が過ぎました。

埼玉県内で、女子ユースチームを立ち上げさせていただいて、年間を通して様々なイベントも実施しております。

ユースのツアーでしたり、ホームゲームの誘致、イベント関連、学校訪問、企業交流会という形で色々やらせていただいているんですけども、その中でもスポンサー様やおつき合いのある企業を中心とした企業交流会を目標月 1 回開催させていただいているんですけども、こちらが好評をいただいております。

それでは本題に入りたいと思います。

アスリートのデュアルキャリアということで、先ほどご説明があったと思うんですけども、プロアスリートが仕事をしながら競技を続け、アスリートが仕事をしながら競技を続けることがデュアルキャリアと思います。

プロアスリートといっても、競技だけ食べていける人はほとんどいなく一握りの選手のみで、仕事をしながら、皆様選手を続けているっていう方が多くいるのが現実です。

そんな中で、アスリート目線での苦労や課題についてなんですけれども、まず働く環境が挙げられます。

資料の 1 番目ですね、労働時間の融通と書いてあるんですけども、こちら私自身がですね実業団チームに所属していた時、平日日中は仕事をし、仕事の後練習に行くというのが基本的な形だったんですけども、仕事がメインだったため、残業をして、体育館に着くのが 22 時を回るということもしばしばありました。

2つ目の引退後についてなんですけれども、私が勤めていた会社は仕事がメインだったりということもありまして、1 年目から研修制度がしっかりしていたのでとても助かりました。社会人としての基本も学べたり、技術も学べましたので今でもすごく役に立っております。

アスリートの求めるデュアルキャリアということで、私の意見をたくさんお話ししてもプロアスリートとはまたちょっと少し違ったキャリアなので、今回のお話をいただいたとき、ご参加いただく皆様へよりよい情報をお伝えしたいと思い、他のプロアスリートにアンケートを実施いたしました。

アンケートの実施者は以下の通りになります。

人数は少なく 10 名程度になるんですけども、バスケットはもちろん、女子サッカーでしたり、バレーボール、格闘技など様々な競技の方にご協力いただきました。

アンケートの実施内容は、こちらの通りになります。

では早速いきます。

1 番の競技以外に別の仕事をされていますかということで皆様「はい」とお答えいただきました。

今回のアンケートに関してなんですけれども、トップで活躍する例えば代表クラスの選手とかそういう選手はいませんので、ほとんどの方がこういった形で仕事をされてるっていう方になります。

2 番なんですけれども、自身のキャリアについて不安があるか聞いたところ、半分以上の方が不安はないと回答いただきました。

これもやっぱり人数が増えると、回答内容が変わってくると思うんですけども、ご参考までによろしくをお願いします。

こちらの 2 番の質問に対し、具体的にどのようなことに不安を感じているか、聞いてみましたところを、引退・退団したら雇用契約満了となる仕組みだったので、次の就職先がスムーズに決まるか不安だったことや、引退後のセカンドキャリアなど現在の仕事というより、引退後のキャリアを不安に感じている意見が多くありました。

次に進みます。

競技を続けながら働く場合、企業に求めることはあるかと聞いたところ、企業側へは練習時間の確保や、週末試合でしたり、遠方での試合があった場合に前日入りするための就業時間を調節していただきたいことでしたり、仕事面でのスキルアップに向けた研修制度が欲しいなど意見がありました。

それに反して、企業側には特にないということでしたり、ご自身で事業を並行して行っていて、引退後も同じ生活を送れたという方もいらっしゃいました。

今回のアンケートは、引退された方も何名かいらっしゃいましたので引退された方にも質問させていただきました。

現役時代、何をしておけばよかったのかご意見をいただきました。

先ほどと同じように企業側に求めることはないという意見がまず一つありまして、まずは入口の問題だという意見でした。

こちらは通常の契約内容で、普通の従業員として入社をするなら従業員として、アスリートならアスリートでということ自分の責任を全うすべきという意見でした。

アスリート側の考え方の問題も多くあると言っておりまして、両者の意識のすり合わせが必要だと感じているということでした。

これは私も実業団時代、会社員として入社していたのでごもっともですという感じの意見でした。

また私自身アスリート採用いただく企業側とアスリートの両方による就職内容の話し合いはとっても大切だと思っております。

先ほどアスサポの方でやっている内容は素晴らしいなと思いました。

いろいろな人に会うこと、ということそのアスリートとしてやっぱり競技という狭い世界の中で生きてきて、いざ引退すると知らないことがたくさん出てきたという意見をいただきました。これは引退して感じたことなので、競技している方々が話を聞きに来たときに伝えてあげたいことかなと思いました。

引退後も今やってる競技をビジネスにする場合ということで、自分でやってきた方のご意見なんですけども、現役時からコーチのライセンスの取得でしたり指導を始めておくと、スムーズに進むだろうなという考え方でしたり、資格をもっと取っておけばよかった。これはプロ一本でやってた方なんですけれども、どのような仕事があって、どのような資格を取っておくといいか、情報を得る場があるといいなという話もありました。

こちらが最後のアンケートの内容なんですけど、自由記述っていう形で自由に何か意見があったということで、お話をいただきました。

まずは県内のマイナースポーツチームの就職あっせんに県に入ってくれると助かるという方がいらっしゃったり、自分のブランディングでしたり、自分のスポーツ協賛を自分で獲得するという事で、ビジネスの実力をつけていきたいという意見でした。

同じスポーツでもやっぱりプレーと指導というものは分けて、しっかり働ける環境があればいいなって考えている方もいらっしゃいました。

アンケートは以上となります。

実際にアンケートを実施してみて、意外にもアスリート側は働く企業に求めるっていう意見よりも、情報を得る場を求めているなと感じました。

これは私が今回1人で今まで経験した内容をお話しようかなって考えてたんですけども、実際にアンケートをとってみて初めて、他の人はそういうふうに思っているんだなって感じたところなので、すごく有益なアンケートになりました。

まずはどのような仕事があるのか、どのような企業がアスリート採用を行っているのかっていうところもわからない人が多いので、情報発信する場を提供できると良いと思います。

これは今現在ですとアスサポがあると思うんですけども、そういった活動でしたり、他にも行政でしたり企業さん主体でもいいと思うんですけども、いろんな活動が増えていくといいなと思います。

また場が提供できる場合、県内のプロスポーツチーム、プロアスリート、個人、どのように情報を提供できるかが課題になりそうだなと感じました。

実際に開催していてもそんなことやってたことすら知らなかったっていうことを防げるというなと思います。

そのためにSNSの活用でしたりプロチームとの連携も今後すごく重要になってくるんじゃないかなと思います。

アスリートは競争力やコミュニケーション力、SNS拡散力など様々な分野でアスリートならではの能力を持っている方が多くいるので、ぜひ、アスリート採用を考えている企業の皆さんは、アスリートとたくさんコミュニケーションを取っていただければと思います。

アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました。

次に全体を通して、最後のまとめとなります。

今回重要だと感じたことは、まずアスリート採用を行っている企業の説明会の実施が必要なのかなと。入口対策ですね。

アスサポさんの認知でしたり、マイナー競技を含めた、様々なアスリートへの案内が重要なのかなと感じました。

より多くのアスリートへ知っていただくってということと、もう一つデュアルキャリアを続けるための双方の話し合いですね、労働環境でしたり競技の状況。

やっぱり競技だったり、個人個人で練習の時間帯でしたり、大会の日程、様々バラバラだと思いますので、アスリート採用を考えていただける企業の皆様は、ぜひ良いなと思うアスリートの方がいらっしゃったら、深く話を聞いていただきたいなと思います。

総合的に今回のアンケートを取った方々が対象なんですけど、まだまだ入口対策が必要だなと感じました。

以上がアスリートに求めるデュアルキャリアについてでした。

最後になりますが、告知になります。

来年の1月20日に熊谷にて、SAITAMA LIPLA ホームゲームを開催いたします。

子供たちの大会やユースカップも開催の予定です。

私たちと一緒に埼玉を熱く盛り上げませんか、ということでぜひ一緒に盛り上げていただける方や、ご協賛いただける方、企業様、絶賛募集中です。

たくさんのご連絡お待ちしております。

ぜひどんな競技か気になる方、現地に応援に来ていただけると嬉しいです。

以上となります。

ご清聴ありがとうございました。